

厚生労働大臣杯 第73回全日本実業団バドミントン選手権大会
監督会議資料（事前連絡版）

【1】事前周知事項**1. 参加選手名の確認**

監督は、大会参加申込書と大会プログラムのチーム名、選手名、背番号などが同じか、確認すること。

2. チーム役員・選手の変更の受付について

チーム役員、選手等の変更は、6/16までに日本実業団バドミントン連盟事務局へメール送信すること（jimukyoku@badminton-jitsugyodan-jp.com）とし、以後の変更は認めません。所定の様式「チーム役員・選手変更届」を使用すること。試合（対戦）時監督が不在の場合（男女で登録監督が同じ場合など）は、その試合（対戦）の監督代行をオーダー用紙の「監督代行」欄に記入しレフェリーに申告すること。（大会運営規程 第36条に関連する）。

3. 無資格選手の出場について

- (1) オーダー交換前に判明した場合は選手登録を抹消とします。ただし、チームへのペナルティを科すことはしません。
- (2) オーダー交換後に判明した場合はチームを失格とします。この場合は、該当チームにペナルティを科すこととします。
- (3) ペナルティ内容については、日本実業団バドミントン連盟の理事会にて決定し、別途通知することとします。

4. ベンチの使用およびベンチ入りメンバーについて

- (1) ベンチは、主審に向かって右側を組み合わせ番号の若いチームが使用します。
- (2) ベンチ入りできる者は、大会申込書と大会プログラムに記載のチーム構成員（チーム役員、選手）とし
6月21日（水）から23日（金）のベンチ入り可能な最大人数は、4名とします。（ベンチ椅子は4個、コーチ席なし。）
6月24日（土）のベンチ入り可能な最大人数は、12名とします。（ベンチ椅子は12個、コーチ席あり。）
6月25日（日）については別途案内します。

5. ドーピング検査の実施について

- (1) 今大会ではドーピング検査を実施します。
- (2) 検査は選手全員が対象となっており初回戦に出場した選手が対象となることもありえます。指名された選手はマッチ（試合）終了後検査が行われます。
- (3) 従って、各チームの監督・選手の皆さんは大会当日トラブルが生じないよう事前情報の収集を含めアンチ・ドーピングを理解すること。
- (4) なお、陽性の反応が出た場合には、戦績の剥奪、出場停止等重い処分が科されますので、十分注意すること。

6. 領収書

チーム受付時にお渡しします。

【2】競技進行について

1. 競技規則等について

- (1) 本大会は、日本実業団バドミントン連盟が定めた大会要項、令和5年度（公財）日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程により行います。

2. オーダー用紙について

- (1) オーダー用紙は、「本部用」、「対戦チーム用」及び「自チーム用」の3部で構成されています。
- (2) 「本部用」、「対戦チーム用」及び「自チーム用」を試合（対戦）開始予定時刻の30分前までに大会本部に提出して下さい。
- (3) 勝ちチームは試合（対戦）終了後に各会場の大会本部で受け取って下さい。

3. 連続試合の場合の間隔及び、オーダー用紙提出について

- (1) 連続試合（対戦）の場合の試合間隔は20分とします。
- (2) 開始予定時刻の10分前までにオーダー用紙を大会本部に提出して下さい。

4. 選手等の集合、試合開始時刻について

- (1) 選手は、原則として試合（対戦）開始予定時刻の1時間前までに会場に到着して下さい。
ただし、各競技日の第1試合（対戦）については、試合（対戦）開始時刻の30分前までとします。
- (2) 監督・選手等は、試合（対戦）開始10分前までに準備を済ませ、係の指示に従って下さい。
ただし、各競技日(大会第4日・5日は別途案内をします)の第1試合（対戦）《大会第1日10：30と11：00開始の試合（対戦）、大会第2日9：30開始の試合（対戦）、大会第3日9：30開始の試合（対戦）》については、タイムテーブルに指定されたコートに試合（対戦）開始時刻の10分前までに集合して下さい。
- (3) 試合（対戦）開始時刻および試合（対戦）コートは、変更することがあります。会場の放送に注意して下さい。
- (4) 並行試合は、行われる場合がありますのでレフェリーの指示に従ってください。
 - ・競技開始時刻が遅れた時。
 - ・試合（対戦）が長引いた時。
 - ・並行試合は事前にレフェリーから監督へ指示します。

5. 試合開始前の練習について

- (1) 試合（対戦）の練習は、各マッチ（試合）前に3分間、ダブルスはペアで、シングルスは対戦選手で行うこと。
大会第4日・5日は別途案内をします。
- (2) 空きコートでの練習は、認めません。

6. 試合の打ち切りについて

決勝トーナメントの試合（対戦）は、勝敗決定後打ち切りとします。

一次リーグ戦は、5マッチ（試合）すべてを行います。この場合、勝敗決定後のマッチ（試合）の棄権は認めません。勝敗決定後のマッチ（試合）については、レフェリーの承認を受けメンバーチェンジを行うことができ、変更は主審及び相手チームの監督に通告します。メンバーチェンジしたマッチ（試合）も正式な試合です。メンバーチェンジとは、提出済みオーダーでシングルスにエントリーされていない選手と交代することです。

7. 出場選手の間違について

オーダー用紙の記載内容と異なった順での出場が判明した場合は、該当チームを失格とする。

ただし、レフェリーが試合（対戦）の勝敗を確認した後に判明した場合は、該当試合（対戦）は有効とする。

8. 競技規則等の違反者（チーム）への対応について

競技規則等および「競技上の注意」に違反した者（チーム）については、発生の都度、レフェリーおよび日本実業団バドミントン連盟（大会本部）で協議の上決定し、対処します。

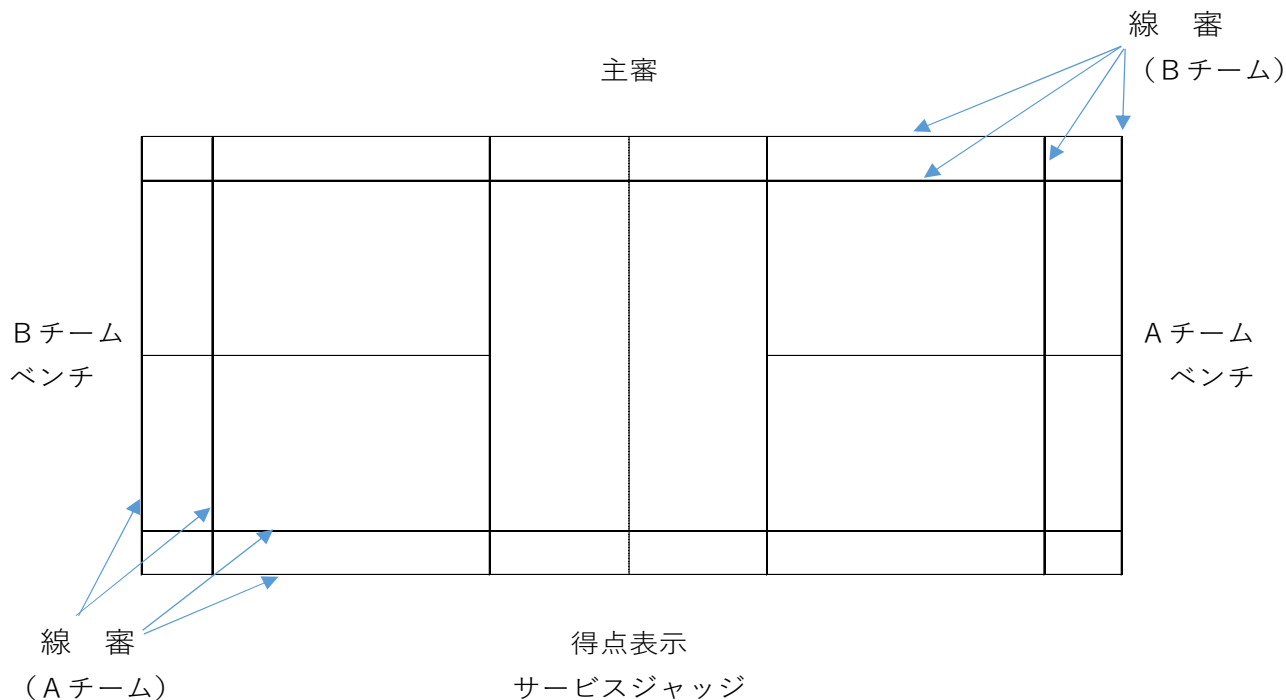
【3】審判の実施について

1. 審判の担当について

- (1) 6月21日（水）（競技第1日目）、6月22日（木）（競技第2日目）、6月23日（金）（競技第3日目）の全試合（対戦）は、対戦チーム同士の『登録審判制』で行います。
- (2) 6月24日（土）（競技第4日目）、6月25日（日）（最終日）の試合（対戦）は、大会開催地の審判員が行います。準決勝、決勝の線審は大会運営規程第7条（3）により4人以上で行います。

2. 6月21日（水）（競技第1日目）から6月23日（金）（競技第3日目）の審判実施方法

- (1) 出場チームは、（公財）日本バドミントン協会公認審判3級以上の資格者を4名以上登録して下さい。
- (2) 『登録審判制』により行いますので、各対戦チームは、それぞれ2名の登録審判員を出し、主審1名、線審2名、サービスジャッジ・得点表示1名の計4名で審判団を構成し実施して下さい。
- (3) 各対戦チームは、主審（矢印のライン）、線審（Aチーム）、線審（Bチーム）（矢印のライン）、サービスジャッジ・得点表示の組合せで実施して下さい。順番は両チームで協議して下さい。



競技規則（抜粋）

第9条 第1項 (5) サーバーは、ラケットで最初にシャトルの台を打つものとする。

(6) サーバーのラケットで撃たれる瞬間に、シャトル全体が必ずコート面から 1.15m 以下でなければならない。

- (4) 試合（対戦）開始時のスコアシート、イエロー・レッドカード（ストップウォッチ）の受取は組み合わせ番号の若いチームの担当とします。試合（対戦）終了後の結果の確認（主審署名・勝者署名の確認）および本部への報告は勝者チームの監督が行って下さい。（次の試合のオーダー用紙を必ず受け取ること。）
- (5) 各マッチ（試合）を担当した主審の方はスコアシートの「主審署名欄」へ名前を記入してください。
- (6) 各チームの登録審判は審判手帳を持参いただければ、審判実績を手帳に記録しますので、試合（対戦）終了後に本部にて押印を受けて下さい。令和3年度以降の新規取得者や更新者は審判手帳の発行がありませんので審判実績証明書をお受け取り下さい。

3. マッチ（試合）中のけがまたは病気

- (1) マッチ中のけがまたは病気には慎重かつ適切に処置しなければならない。主審はこの問題についてできる限り早く決断するよう努めなければならない。もし、必要ならばレフェリー（競技役員長）を呼ぶ。レフェリー（競技役員長）は、医療役員やその他の人をコートに呼ぶ必要があるかどうかの判断を下す（本規程第3条第6項）。医療役員は、プレーヤーを診察し、プレーヤーにけがや病気の状態を知らせる。プレーの遅延を不当に引き起こす如何なる医療処置も認めてはいけない。ただし、医療役員はけが等により処置が必要なプレーヤーに対してはインターバル中を除き、マッチ中、1度だけスプレーを使用した処置をすることができる。

主審はこのけが等の処置について時間を計測すること。

- (2) もし、出血がある場合は、出血が止まるまで、あるいは傷が適切に保護されるまで、そのゲームの再開を遅らせる。または、それ以外の場合にレフェリー（競技役員長）が主審にゲームの再開を遅らせる

よう指示することがある。

- (3) もし、プレーヤーが主審に、けがや病気のために棄権の意思表示をしたときは、主審は「アー ユー リタイアリング (棄権しますか)」とプレーヤーに尋ねる。もし、棄権の意思が確認できれば、主審は適切な審判用語 (「プレーヤー名・チーム名」「リタイアード (棄権)」、「マッチ・ワンパイ」、「プレーヤー名または所属名」、「スコア」) を用いコールする。(競技規則付録5)

①もし、主審がプレーヤーのけがや病気の訴えが、正当な主張であるかどうかの確信がなければ、レフェリー (競技役員長) をコートに呼ぶ。

(スコアシートの例示)

AA	1	<table style="border-collapse: collapse; margin: 0 auto;"> <tr><td style="padding: 0 10px;">2</td><td style="padding: 0 10px;">1</td><td style="padding: 0 10px;">-</td><td style="padding: 0 10px;">8</td></tr> <tr><td style="padding: 0 10px;">7</td><td style="padding: 0 10px;">-</td><td style="padding: 0 10px;">2</td><td style="padding: 0 10px;">1</td></tr> <tr><td style="padding: 0 10px;">1</td><td style="padding: 0 10px;">0</td><td style="padding: 0 10px;">-</td><td style="padding: 0 10px;">8</td></tr> </table>	2	1	-	8	7	-	2	1	1	0	-	8	1	BB キケン
2	1	-	8													
7	-	2	1													
1	0	-	8													

4. 公認審判員規程第5条第12項による注意事項 (抜粋)

第5条

第12項

(5) コートサイドで、コーチはマッチ中、相手側のプレーヤー、コーチ、チーム役員、または担当の審判員と、どのような方法でも連絡 (情報交換) を取り合ってはいけない。

(6) コートサイドで、コーチはマッチ中、いかなる目的でも携帯電話、パソコンなどの電子機器を使用してはならない。

(8) コーチは、コートサイドでマッチにふさわしい服装で臨むこと。

例えば、チームユニフォーム、シャツ、ポロシャツ、ブラウス、長ズボンまたはスカートとし、ジーンズやビーチサンダル、バミューダ、ショーツ、スリッパ、サンダルは禁止とする。その適否判断は大会レフェリー (競技役員長) に委ねるものとする。(今回の大会記念シャツは可)

第15項 モバイルフォン (携帯電話、スマートフォン)

マッチ中のコートまたはコート周辺でプレーヤーの携帯電話が鳴った時は、競技規則第16条第6項(4)の違反とみなされ、競技規則第16条7項が適用される。

第16項 不品行な振舞い

(1) 主審は、プレーヤーのコート上での振舞いが常にスポーツマンシップに則った立派なものになっていることに注意を払わなければならない。違反と判断した場合は競技規則第16条第6項(4)が適用される。

【4】練習会場について

1. 練習会場の場所・練習時間について (予定)

○露橋スポーツセンター (10面)

6月21日 (水) ~6月22日 (木) 9時30分~17時00分

2. 練習会場の運用方法について

別途周知

【5】その他の注意・連絡事項

1. 注意事項

(1) ゴミの持ち帰りについて

大会期間中会場から発生したゴミは、各自お持ち帰り願います。

(2) 体育館コンセントの使用禁止について

体育館内でのビデオ撮影は可能ですが、撮影は持参するバッテリーでの撮影のみ可とし体育館内のコンセントの使用は禁止です。

(3) 部旗・応援団旗の掲揚について

部旗・応援団旗の掲揚については、次のとおり扱う事といたします。

掲揚位置が施設・競技に支障があると判断した場合は、撤去又は移動していただく場合があります。

なお、手摺りへのテープによる固定は禁止します。

また、下地の色が白色の場合には、競技に支障をきたすことがありますので撤去していただく場合があります。

(4) 第73回大会用背面チーム名ユニフォームが不足した場合の特例

各試合日の最初のマッチには本大会の「大会取決め事項」に沿ったユニフォームを着用するという条件で、不足が生じた場合は「レフェリー」に承認を得て旧ユニフォームの使用を認める。但し、この場合のユニフォームは、ほかの（公財）日本バドミントン協会1種大会で着用できません。

2. 3位までの入賞チームの表彰について

3位までの入賞のチームは希望があれば試合（対戦）終了後準備ができ次第表彰いたします。

3. 自チームの写真撮影等について

- ・自チームの写真撮影等は観客席から行うこと。
- ・対戦終了後の記念撮影は、速やかに撮影すること。

4. 選手名の間違について

大会が始まったのちに、大会申込書、大会プログラムの選手名の間違や姓の変更が分かった場合はレフェリーに正しい名前を届け、名前の訂正を行うこと。

5. オーダー用紙への漢字記入の注意

画数の多い文字は簡略文字の使用を認める。

6. 新型コロナウイルス感染症対策

日本バドミントン協会の「新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン」及び「新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン 3章バドミントン競技大会・イベント実施にあたって」に関して、両ガイドラインの公表・運用が終了したため、今後、バドミントン競技を行う際や大会・イベントに参加する際には、原則として各個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断によって感染症対策を必要に応じて行うこととする。

新型コロナウイルス感染症防止対策を行う場合は、大会HPに掲載する。

7. ベンチ席での応援について

ベンチでの応援については、電子楽器の使用や立ち上がったの応援は禁止とする。（うちわ、ステイク・バルーン、ハリセン等の使用も禁止）

【6】 監督会議及び開会式について

1. 監督会議

令和5年6月21日（水） 9：00～9：40 日本ガイシスポーツプラザ 会議室

（日本実業団バドミントン連盟ホームページに監督会議資料をアップしますので確認すること）

2. 開会式

開会式は一同集まって行わず、第1会場の初戦試合のあるものは各試合コート、試合のないものは観客席に密にならないように着席した状態で簡素な形で開始式を行う。

【7】 会場所在地・アクセスについて

<大会会場>

○日本ガイシスポーツプラザ 日本ガイシホール（名古屋市総合体育館）

〒457-0833 愛知県名古屋市南区東又兵ヱ町 5-1-16 TEL 052-614-3111

○名古屋市稲永スポーツセンター

〒455-0845 名古屋市港区野跡 5-1-10 TEL 052-384-0300

○パロマ瑞穂アリーナ

〒467-0027 名古屋市瑞穂区田辺通 3-4 TEL 052-836-8228

<練習会場>

○露橋スポーツセンター

〒454-0022 名古屋市中川区露橋 2-14-1 TEL 052-362-4411